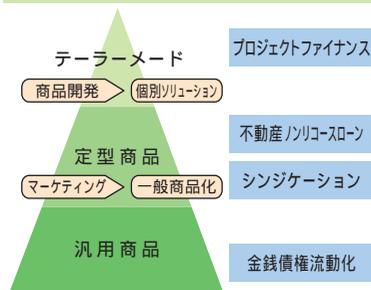


投資銀行ビジネス

プロダクツの汎用化・小口化(イメージ)



■ 三井住友銀行の投資銀行ビジネス

三井住友銀行の投資銀行ビジネスの特徴は、個別のお客さまのニーズに合わせてテーラードで開発・提供した商品を、より幅広いお客さまにご利用いただけるようスピーディーに汎用化・小口化することです。このような取り組みによって、シンジケーション、ストラクチャード・ファイナンス、金銭債権流動化などの代表的な投資銀行プロダクツから得られる収益を着実に伸ばしています。

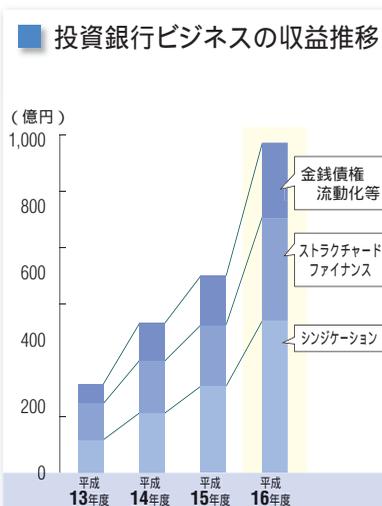
■ 大和証券SMBCとの連携

大和証券SMBC(株)は、SMFGと大和証券グループ本社の合併会社で、株式・債券の引受などの主力証券業務で国内トップレベルのホールセール証券会社です。

銀行・大和証券SMBCの間では、既に6年以上の年月をかけて積極的な人材交流や組織体制の整備などによって、確固たる連携体制を築いており、平成16年度もその実績を着実に増加させました。

■ 平成16年度実績

16年度は銀行投資銀行業務収益、大和証券SMBCの収益とも大幅に増加しました。銀行による本邦最大規模のリサイクル発電事業「東京都スーパーエコタウン」のFA獲得、同じく本邦最大規模のPFI(民間資金活用による社会資本整備)案件「中央合同庁舎第7号館整備事業」のFA・アレンジャー獲得、大和証券SMBCによる普通社債、既公開株式公募・売出でのリーグテーブル第一位獲得等、主要な業務分野で本邦トップクラスの実績を上げました。また、法人向け証券仲介ビジネスにも解禁と同時に参入。予想を上回る実績を上げ、近い将来投資銀行部門の大きな柱となる可能性を示しました。



大和証券SMBC リーグテーブル

普通社債主幹事

(2004/4/1-2005/3/31)

順位	証券会社	引受金額(億円)	シェア(%)
1	大和証券エスエムビーシー	20,148	23.8
2	野村證券	14,714	17.4
3	みずほ証券	12,576	14.9
4	日興シティグループ証券	10,612	12.5
5	三菱証券	10,204	12.1

(出所) Thomson Financial

株式公募・売出ブックランナ

(2004/4/1-2005/3/31)

順位	証券会社	引受金額(億円)	シェア(%)
1	大和証券エスエムビーシー	5,902	30.2
2	野村證券	5,468	27.9
3	日興シティグループ証券	4,311	22.0
4	みずほ証券	1,400	7.2
5	三菱証券	858	4.4

(出所) Thomson Financial

新規公開株式公募・売出ブックランナー

(2004/4/1-2005/3/31)

順位	証券会社	引受金額(億円)	シェア(%)
1	野村證券	4,551	43.7
2	大和証券エスエムビーシー	1,845	17.7
3	日興シティグループ証券	1,598	15.3
4	UBS証券	514	4.9
5	新光証券	466	4.5

(出所) Thomson Financial

事業内容

SMFGは三井住友銀行の投資銀行部門と大和証券SMBCをはじめとするグループ各社の総力を結集して、法人のお客さまの多様化する資金調達・運用ニーズやリスクヘッジ・M&Aなどのあらゆる経営課題に対し、最適なソリューションを提供し、お客さまの企業価値向上に積極的に貢献していきます。